

代表質問

豊政会

秦 眞治



18年度予算は給食センター建設、障害者スポーツ施設建設など増大する福祉需要にも適切な予算編成であり、歳出は市民要望や意見を取り入れた予算となっている。歳入では市税は4%増加しているが、税収の大幅な増加にもかかわらず、起債や基金からの繰り入れで財政難の予算編成となっている。

行財政改革

問 財政健全化、自立について。策定中の集中改革プランの趣旨。また、職員地域手当支給は。

答 財政健全化は平成18年度に財政健全化計画を策定。定員管理適正化と人件費抑制は、5年間で定員4.6パーセント以上削減、勸奨退職制度の継続。地域手当は要件を満たせば支給を検討。

福祉、少子高齢化

問 子育て支援は胎児から中学卒業まで。福祉施策は。長期療養型病床の野洲病院支援は。

答 少子化対策予算は約

まちづくりと産業振興・観光振興

16億円で全体予算の8.5%。ファミリーサポートセンター事業は民間委託。長期療養型病床の増床は必要であり、野洲病院と協議検討。

安心・安全のまちづくり

問 地域自主防災組織の状況、指導者育成。「生活安全課」の使命と役割。防災行政無線の活用方法は。

答 自主防災組織は、自治会単位で指導を行っている。生活安全課では災害犯罪に対し危機管理体制の充実を図る。防災行政無線は行政、地域、学校等の緊急の情報等での活用検討。



防災訓練

乙窪工業団地イオン出店対策の商工会、近隣商業者支援策。商工会二元化、駅前整備とまちづくり交付金。

効果的な観光振興策は。農政改革は認定農業者の確保、集落営農の組織化および機能強化を推進。地産地消は新給食センターで地域野菜を使う計画。

問 認定農業者確保、集落営農組織化・機能強化の指導。地産地消とまちの駅構想。

まちの駅構想の整備形態は既存の施設を活用。イオン(株)出店に伴う支援策は店舗新築等の利息一部補助、店舗新築等の福祉向上や環境負荷軽減の一部補助。テナント出店支援は出店経費借入利息一部補助。両商工会の合併推進に向け支援。

子どもの安全

問 スクールガードの現状。地域の警察官OBの協力は。

答 子どもの安全は地域

見守り隊などが進み、県でもスクールガードの協力要請。警察官退職者の協力は守山警察署長から地元退職者に対し依頼。

体育協会

問 組織、機構の強化は。答 スポーツ振興は地域スポーツの経験、力量を有する専門職員を配置。

交通

野洲市体育協会組織及び機能の強化は、野洲市全体の生涯スポーツの振興の中に位置付け、積極的にサポートしていく。

問 交通関連の懸案は。答 新幹線新駅は工事協定締結。湖南4市として国道8号バイパス整備、JR複数線化等ハード施策の推進。

野洲駅前整備は「野洲駅南口土地利用計画協議会」を設置、協議。年度末までに基本計画の立案、来年度より具体化する。JR篠原駅改築は篠原



J R 篠原駅

駅周辺都市基盤整備推進協議会で22年の工事着手の意思表示。野洲く篠原駅間新駅は新駅設置可能性調査、再整理。国道8号バイパス建設は国、県と協力し測量問題の解決に努力。県道野洲甲西線の渋滞解消は三上小学校前交差点時差式信号に変更、右折レーンの設置を要望中。

野洲川橋西詰交差点は今年度実施設計、琵琶湖河川事務所との協議中。(仮称)湖南東近江広域幹線道路計画、湖南幹線は県に要望。駅前周辺雨水対策は多額の財源と年数が必要、補助事業として模索中。サブゾーン排水対策は市域全体の雨水排水計画を再構築。

野洲駅前整備は「野洲駅南口土地利用計画協議会」を設置、協議。年度末までに基本計画の立案、来年度より具体化する。JR篠原駅改築は篠原

代表質問

ネットワーク野洲

鈴木 木市朗



野洲市の経済・財政は
—学区別課題の検証—

わが国経済はエネルギーの高騰や、WTO関連農産物輸入等、不安定要素はあるが、緩やかながら順調な回復基調にある。

一方、内閣府発表のジニ係数（所得や資産の配分の不平等を測る尺度）では、1979年と比較し、2002年は格差が広がっている。

問 ジニ係数を下げる方策を、市としてはどのように考えているのか。

答 主に高齢化と世帯規模の縮小の影響による。

市は湖南就労サポートセンターの設立など就労問題に取り組んでいく。

問 平成18年度予算190億6700万円に対し、基金繰入13億1800万円、市債35億6910万円（18・8%）を充当して編成。一方、18年度債

務償還額（＝公債費・借入返済）26億3958万円（13・8%）、また、基金は底をつく状況と、財政状況は悪化の一途をたどっているが所見を問う。

答 地方債の発行額を、地方債元金償還額以内に抑制し、公債費負担を軽減する必要がある。

問 固定資産税の大幅減収となっているが、今後の取組は。

答 土地の有効利用と市街化区域の拡大により、安定的な財政確保の方針。

学区別の課題について

【野洲学区関連】

問 野洲川廃堤敷の利用計画について

答 地元の協力を得ながら複合的福祉施設を検討。

問 野洲川西詰交差点の信号機設置状況を伺う。

答 県は、17年度に実施設計をまとめ、琵琶湖河

川事務所と協議を進めている。

問 国鉄清算事業団買収用地利用と複数線化対策は。

答 当面、地元自治会や、民間企業が利用。JRは複数線化に難色を示している。

問 駅前周辺整備について。

答 利用計画協議会を設置し、17年度中に基本計画を立案・策定をする。

【三上学区関連】

問 少子高齢化から脱却が望めない三上学区の現状から、今後の街づくりと、土地利用計画を伺う。

答 少子高齢化は、三上学区が特に進行していることではないが、対策が必要と考える。市街地隣接農地の宅地化は、均衡のある発展を図る。

問 国道8号線バイパスの進捗状況と、県道野洲甲西線の交通緩和対策を伺う。

路線測量は、地元や国道事務所と協議。県道は県道路線と協議中である。

【北野学区関連】

問 野洲駅北口線先線の整備と右岸堤防の対策は。

答 都市計画道路として、県へ整備要望を重ねている。堤外民地の土地利用計画、市三宅地先の市街化区域の区画整理事業計画や廃川敷地の右岸は路線整備を視野に協議必要。

問 東西医学研究所施設の現状と今後の見通しは。

答 立命館大学や滋賀医大と協議中。

問 富波乙地先の交差点信号機の設置は。

答 最優先設置箇所として強く要望している。

問 竹生の高齢化対策。

答 市内で最も高齢化の地区であり、様々な福祉施策を活用し展開する。

【祇王学区関連】

問 富波サブゾーンの排水対策と今後の利用方法は、

答 下流部河川の断面不足やJRとの協議も課題。現在策定中の国土利用計画等の整備に合せ検討。

問 祇王駅の取組と周辺

整備計画について。

答 平成15年の新駅設置可能性調査を踏まえ現在策定中。国土利用計画等、基本計画作成とリンクさせ整備の整合を図る。

問 他の質問

・四大字辻ダム利用の水源確保。

【篠原学区関連】

問 産業廃棄物業者の管理監督について。

答 処理業者については、県が管理監督。場合によっては市が関与するケースがある。なお、土壌及び排ガス・ダイオキシンは年1回の検査を実施。

問 篠原駅南口の開設は。

答 駅舎橋上化事業を平成22年から着手予定。合せて南口開設計画。

【中里学区関連】

問 西河原、北比江、小比江保有14・4haの特定保留地の市街化区域編入手法と今後の進捗は。

答 住宅供給公社等の公的開発が困難。また「合併」などの情勢変化もあり、具体的手法はない。

問 他の質問

・湖南幹線の進捗状況
・新川の排水対策
【兵主学区関連】

問 びわ湖湖岸開発、吉川字中瀬代表地番「3326」の24反の遊休土地活用について。

答 環境について学習する拠点として、整備を進めるべきと考えている。

しかし、施設の誘致や運営などが容易に進む状況になく、幅広く活用方法を模索していく。

問 他の質問

・蓮池の里、旧処分地周囲の排水浄化対策
・北流旧河川びわ湖緑地
・県営風景公園の整備

【共通関連】

問 野洲病院の療養型医療施設の今後の考え方は。

答 医療の必要度の高い人に対し、在宅で24時間の医療介護制度なども整っていないことから、医療型の療養病床は必要である。今後、野洲病院と協議検討して行く。



琵琶湖岸